

ハローワークのマッチング機能に関する業務の評価・改善の取組 大阪労働局 令和6年度目標値及び事業計画

| | 指標 | 目標値 | 事業概要 |
|-------|---|---------|--|
| 主要指標 | ①就職件数 | 72,222件 | オンライン機能の拡充により、ハローワークに来所せずに求職活動を希望する者へのサービスの充実を図ります。また、潜在的にハローワークの支援を必要とする者に対する情報発信を強化し、ハローワークの利用を促すとともに、基本業務の徹底を土台に、予約制・担当者制を積極的に活用し、多様な求職者の一人ひとりのニーズに合わせたきめ細かな支援を行い、求職者支援の更なる強化を図ります。 |
| | ②充足数(受理地ベース) | 82,335件 | 多様な求職者のニーズに合わせた求人確保及び内容の充実に努めるとともに、求人担当者制を積極的に活用して、求人の魅力を引き出し、適合する求職者の職業紹介につなげる等、事業所サービス部門と職業相談部門の連携による能動的・積極的マッチングを推進します。 |
| | ③雇用保険受給者の早期再就職割合(※) | 31.9% | 雇用保険受給者の早期再就職を実現するため、失業認定日に失業認定担当部門と職業相談部門が連携し、受給者個々の状況に応じた職業相談を行うための体制を整備し、就職支援の強化を図ります。 |
| 補助指標 | ①満足度(求人者) | 90.0% | 労働市場の実情に応じ、個々の求職者・求人者のニーズに応えるべく、ハローワークの各種支援サービスを充実させるとともに、積極的な取組を実施し、利用者の満足度を向上させます。 |
| | ②満足度(求職者) | 95.0% | |
| 所重点指標 | ①生活保護受給者等就労自立促進事業の就職率 | 68.1% | 生活保護受給者等の生活困窮者の就労による自立を促進するため、地方自治体等との緊密な連携の下、福祉事務所内へのハローワークの常設窓口の設置、巡回相談の実施等による効果的な支援を推進します。 |
| | ②障害者の就職件数 | 8,456件 | 障害者に対するきめ細かな就職支援及び法定雇用率の達成指導に向けた取組を強化します。 |
| | ③新卒者支援に係る就職支援ナビゲーターの支援による新規卒業予定者等(既卒者含む)の正社員就職件数 | 9,792件 | 就職支援ナビゲーター等による担当者制の個別支援や、未内定者・未就職卒業者に対する「正社員就職をあきらめさせない」継続的な支援、離学者に対する就職支援情報等の提供、就職後の定着支援等を推進します。 |
| | ④ハローワークの職業紹介により、正社員に結びついた就職氷河期世代(35歳～56歳)の不安定就労者・無業者の件数 | 10,653件 | 就職氷河期世代の抱える固有の課題を踏まえ、個々人の状況に応じた支援を行い、活躍の場が広がるよう支援を行うとともに、就職面接会、事業主向けセミナー及び求職者向けセミナー等を実施します。 |
| | ⑤わかものハローワーク等を利用して、就職したフリーター等のうち、正社員として就職した者の割合 | 71.0% | フリーター等に対し、担当者制によるきめ細かな個別支援や予約制による職業相談・職業紹介等、一人ひとりのニーズに応じた就職支援を推進します。 |
| | ⑥公的職業訓練修了3ヶ月後の就職件数 | 6,470件 | 人材不足分野や地域における職業訓練ニーズに沿った訓練コースを設定。求職者個々の状況に応じた適切な訓練への誘導、受講あっせん、訓練修了後の就職支援により、安定した就職の実現に向けた支援を強化します。 |
| | ⑦マザーズハローワーク事業における担当者制による就職支援を受けた重点支援対象者の就職率 | 95.9% | マザーズハローワーク及びマザーズコーナーにおいて、子育て中の者等を対象に、子ども連れで来所しやすい環境を整備した上で、個々の求職者の状況に応じた就職実現プランを策定し、担当者制によるきめ細かな職業相談などの就職支援の強化を図ります。 |
| | ⑧人材不足分野の就職件数 | 18,422件 | 地方自治体や地域の関係機関と連携しつつ、医療・介護・保育・建設・運輸・警備職種への就職を希望する求職者に対する就職支援サービス及び求人者に対する充足支援サービスを充実・強化します。 |
| | ⑨生涯現役支援窓口での65歳以上の就職率 | 83.4% | 「生涯現役支援窓口」において、特に65歳以上の求職者への就職支援を強化します。 |

※雇用保険受給者が所定給付日数を3分の2以上残して就職(待期間中や給付制限期間中の就職者、自己就職者等を含む)、雇用保険被保険者資格取得届が提出された件数に雇用保険受給資格決定件数を除いた割合

ハローワークのマッチング機能に関する業務の評価・改善の取組 ハローワーク大阪東 令和6年度目標値及び事業計画

| | 指標 | 目標値 | 事業概要 |
|-------|---|---------|--|
| 主要指標 | ①就職件数 | 4,700件 | 潜在的にハローワークの支援を必要とする者に対する情報発信を強化し、ハローワークの利用を促すとともに、基本業務の徹底を土台に、予約制・担当者制の積極的活用や事業所情報の収集により、多様な求職者の一人ひとりのニーズに合わせたきめ細かな支援を行い、求職者支援の更なる強化を図ります。 |
| | ②充足数(受理地ベース) | 13,350件 | 多様な求職者のニーズに合わせた求人の確保及び内容の充実に努めるとともに、担当者制を積極的に活用して、求人の魅力を引き出し、適合する求職者の職業紹介につなげる等、事業所サービス部門と職業相談部門の連携による能動的・積極的マッチングを推進します。 |
| | ③雇用保険受給者の早期再就職割合(※) | 31.9% | 雇用保険受給者の早期再就職を実現するため、失業認定担当部門と職業相談部門が連携し、失業認定日における受給者に対して、個々の状況に応じた職業相談を行うための体制を整備し、就職支援の強化を図ります。 |
| 補助指標 | ①満足度(求人者) | 90.0% | 労働市場の実情に応じ、個々の求職者・求人者のニーズに応えるべく、ハローワークの各種支援サービスを向上させるとともに、積極的な取組を実施し、利用者の満足度を向上させます。 |
| | ②満足度(求職者) | 95.0% | |
| 所重点指標 | ①障害者の就職件数 | 743件 | 障害者に対するきめ細かな就職支援及び法定雇用率の達成指導に向けた取組を強化します。 |
| | ②新卒者支援に係る就職支援ナビゲーターの支援による新規卒業予定者等(既卒者含む)の正社員就職件数 | 427件 | 就職支援ナビゲーター等による担当者制の個別支援や、未内定者・未就職卒業者に対する「正社員就職をあきらめさせない」継続的な支援、離学者に対する就職支援情報等の提供、就職後の定着支援等を推進します。 |
| | ③ハローワークの職業紹介により、正社員に結びついた就職氷河期世代(35歳～56歳)の不安定就労者・無業者の件数 | 742件 | 就職氷河期世代の抱える固有の課題を踏まえ、個々人の状況に応じた支援を行い、活躍の場が広がるよう支援を行うとともに、就職面接会や求職者向けセミナー等を実施します。 |
| | ④わかものハローワーク等を利用して、就職したフリーター等のうち、正社員として就職した者の割合 | 71.0% | フリーター等に対し、担当者制によるきめ細かな個別支援や予約制による職業相談・職業紹介等、一人ひとりのニーズに応じた就職支援を推進します。 |
| | ⑤マザーズハローワーク事業における担当者制による就職支援を受けた重点支援対象者の就職率 | 95.9% | マザーズコーナーにおいて、子育て中の者等を対象に、子ども連れで来所しやすい環境を整備した上で、個々の求職者の状況に応じた就職実現プランを策定し、担当者制によるきめ細かな職業相談などの就職支援の強化を図ります。 |
| | ⑥人材不足分野の就職件数 | 1,044件 | 地方自治体や地域の関係機関と連携しつつ、医療・介護・保育・建設・運輸・警備職種への就業を希望する求職者に対する就職支援サービス及び求人者に対する充足支援サービスを充実・強化します。 |
| | ⑦生涯現役支援窓口での65歳以上の就職率 | 83.4% | 「生涯現役支援窓口」において、高齢者が応募しやすい求人情報提供や面接会の開催し特に65歳以上の求職者への就職支援を強化します。 |
| | ⑧一体的実施事業の就職件数 | 220件 | 生活保護受給者等の生活困窮者の就労による自立を促進するため、地方自治体等との緊密な連携の下、福祉事務所内へのハローワークの常設窓口の設置、巡回相談の実施等による効果的な支援を推進します。 |

※雇用保険受給者が所定給付日数を3分の2以上残して就職(待期期間中や給付制限期間中の就職者、自己就職者等を含む)、雇用保険被保険者資格取得届が提出された件数に雇用保険受給資格決定件数を除した割合

ハローワークのマッチング機能に関する業務の評価・改善の取組 ハローワーク梅田 令和6年度目標値及び事業計画

| | 指標 | 目標値 | 事業概要 |
|-------|---|---------|---|
| 主要指標 | ①就職件数 | 8,590件 | ハローワークを利用してお仕事探しをする方法の一つとしてオンラインサービスが拡充されています。自主的に求職活動される方へのサービスは充実している一方で、ハローワークの窓口を利用して支援を必要とする方々も多くおられます。このため、利用者ニーズを的確に捉え、ハローワークの支援サービスメニューをしっかりと周知し、一人ひとりのニーズに合わせたきめ細やかな支援を行います。基本業務の徹底を土台に、担当者制を活用する等、求職者支援の更なる強化を図ります。 |
| | ②充足数(受理地ベース) | 11,445件 | お仕事探しをしている方にとって求人票は重要な情報源です。求人票の記載内容を詳しく、そしてわかりやすくすることは求人と求職のマッチングに重要です。実際に求職者と相談する職業相談部門スタッフと求人受理スタッフが連携して、求職者ニーズに合わせた求人を確保し、そしてわかりやすい求人票とするため、事業所訪問や求人担当者制を活用して、求人の魅力を引き出し、適合する求職者の職業紹介につなげる等、能動的・積極的マッチングを推進します。 |
| | ③雇用保険受給者の早期再就職割合(※) | 31.9% | 雇用保険受給者の早期再就職を実現するため、失業認定日における受給者に対して、ニーズに合った決め細やかな支援サービスを提供するように努め、1日も早い再就職に向けて就職支援の強化を図ります。 |
| 補助指標 | ①満足度(求人者) | 90.0% | 労働市場の実情に応じ、個々の求職者・求人者のニーズに応えるべく、ハローワークの各種支援サービスを向上させるとともに、積極的な取組を実施し、利用者の満足度を向上させます。 |
| | ②満足度(求職者) | 95.0% | |
| 所重点指標 | ①生活保護受給者等就労自立促進事業の就職率 | 68.1% | 生活保護受給者等の生活困窮者の就労による自立を促進するため、地方自治体等との緊密な連携の下、福祉事務所内へのハローワークの常設窓口の設置、巡回相談の実施等による効果的な支援を推進します。 |
| | ②障害者の就職件数 | 937件 | 障害者に対し、個々のニーズに合ったきめ細かな就職支援を行うため、求人情報等を含めた情報収集を強化するとともに、法定雇用率の達成指導をきっかけとした障害者の雇用促進についても積極的に働きかけ、障害者の就職機会の向上を図ります。 |
| | ③ハローワークの職業紹介により、正社員に結びついた就職氷河期世代(35歳～56歳)の不安定就労者・無業者の件数 | 1,258件 | 就職氷河期世代の方々が個々に抱える固有の課題を踏まえ、状況に応じた支援を行います。正社員就職を目指す支援として、職業相談、就職面接会・説明会の開催や事業所に対して氷河期世代の就職について理解を求めするためのセミナーを開催する等、正社員就職の機会の増加を図っていきます。 |
| | ④わかものハローワーク等を利用して、就職したフリーター等のうち、正社員として就職した者の割合 | 71.0% | フリーター等に対し、担当者制によるきめ細かな個別支援を活用する等、一人ひとりのニーズに応じた就職支援を推進します。 |
| | ⑤マザーズハローワーク事業における担当者制による就職支援を受けた重点支援対象者の就職率 | 95.9% | マザーズコーナーにおいて子育て中の方が安心して相談できる環境(子供の遊び場の確保等)を整え、担当者制を積極的に活用したきめ細やかな職業相談等の実施やオンラインセミナーを積極的に開催する等就職支援の強化を図ります。 |
| | ⑥人材不足分野の就職件数 | 1,521件 | 人材不足分野(医療・介護・保育・建設・運輸・警備)での人材確保は社会的にも必要とされているところです。人材不足分野への就職希望者への就職支援はもちろんのこと、それ以外の方々にも情報提供、セミナーや職業体験会の開催等で業界への理解度を深めます。また、求人者に対する充足支援サービスを充実・強化します。 |
| | ⑦生涯現役支援窓口での65歳以上の就職率 | 83.4% | 生産年齢人口が減少していく中、貴重な労働力として高齢者の活用が重要視されています。「生涯現役支援窓口」において、特に65歳以上の方々に対する再就職支援を強化し、シニア世代を対象としたセミナーや就職面接会を実施します。 |
| | ⑧一体的実施事業の就職件数 | 540件 | 大阪市と連携を強化し、より地域に密着した就労支援を行うとともに、利用者ニーズに応じたサービスを強化します。 |

※雇用保険受給者が所定給付日数を3分の2以上残して就職(待期期間中や給付制限期間中の就職者、自己就職者等を含む)、雇用保険被保険者資格取得届が提出された件数に雇用保険受給資格決定件数を除した割合

ハローワークのマッチング機能に関する業務の評価・改善の取組 ハローワーク大阪西 令和6年度目標値及び事業計画

| | 指標 | 目標値 | 事業概要 |
|-------|---|--------|--|
| 主要指標 | ①就職件数 | 4,672件 | オンライン機能の拡充により、ハローワークに来所せずに求職活動を希望する方へのサービスの充実を図ります。また、潜在的にハローワークの支援を必要とする者に対する情報発信を強化し、ハローワークの利用を促すとともに、基本業務の徹底を土台に、予約制・担当者制を積極的に活用し、多様な求職者の一人ひとりのニーズに合わせたきめ細かな支援を行い、求職者支援の更なる強化を図ります。 |
| | ②充足数(受理地ベース) | 8,310件 | 多様な求職者のニーズに合わせた求人確保及び内容の充実に努めるとともに、担当者制を積極的に活用して、求人の魅力を引き出し、適合する求職者の職業紹介につなげる等、事業所サービス部門と職業相談部門の連携による能動的・積極的マッチングを推進します。 |
| | ③雇用保険受給者の早期再就職割合(※) | 31.9% | 雇用保険受給者の早期再就職を実現するため、失業認定担当部門と職業相談部門が連携し、失業認定日における受給者に対して、個々の状況に応じた職業相談を行うための体制を整備し、就職支援の強化を図ります。 |
| 補助指標 | ①満足度(求人者) | 90.0% | 労働市場の実情に応じ、個々の求職者・求人者のニーズに応えるべく、ハローワークの各種支援サービスを向上させるとともに、積極的な取組を実施し、利用者の満足度を向上させます。 |
| | ②満足度(求職者) | 95.0% | |
| 所重点指標 | ①生活保護受給者等就労自立促進事業の就職率 | 68.1% | 生活保護受給者等の生活困窮者の就労による自立を促進するため、地方自治体等との緊密な連携の下、福祉事務所内へのハローワークの常設窓口の設置、巡回相談の実施等による効果的な支援を推進します。 |
| | ②障害者の就職件数 | 509件 | 障害者に対するきめ細かな就職支援及び法定雇用率の達成指導に向けた取組を強化します。 |
| | ③新卒者支援に係る就職支援ナビゲーターの支援による新規卒業予定者等(既卒者含む)の正社員就職件数 | 191件 | 就職支援ナビゲーター等による担当者制の個別支援や、未内定者・未就職卒業者に対する「正社員就職をあきらめさせない」継続的な支援、離学者に対する就職支援情報等の提供、就職後の定着支援等を推進します。 |
| | ④ハローワークの職業紹介により、正社員に結びついた就職氷河期世代(35歳～56歳)の不安定就労者・無業者の件数 | 766件 | 就職氷河期世代の抱える固有の課題を踏まえ、個々人の状況に応じた支援を行い、活躍の場が広がるよう支援を行うとともに、就職面接会や事業主向けセミナーや求職者向けセミナー等を実施します。 |
| | ⑤わかものハローワーク等を利用して、就職したフリーター等のうち、正社員として就職した者の割合 | 71.0% | フリーター等に対し、担当者制によるきめ細かな個別支援や予約制による職業相談・職業紹介等、一人ひとりのニーズに応じた就職支援を推進します。 |
| | ⑥マザーズハローワーク事業における担当者制による就職支援を受けた重点支援対象者の就職率 | 95.9% | マザーズハローワークにおいて、子育て中の者等を対象に、子ども連れで来所しやすい環境を整備した上で、個々の求職者の状況に応じた就職実現プランを策定し、担当者制によるきめ細かな職業相談などの就職支援の強化を図ります。 |
| | ⑦人材不足分野の就職件数 | 1,058件 | 地方自治体や地域の関係機関と連携しつつ、医療・介護・保育・建設・運輸・警備職種への就業を希望する求職者に対する就職支援サービス及び求人者に対する充足支援サービスを充実・強化します。 |
| | ⑧生涯現役支援窓口での65歳以上の就職率 | 83.4% | 「生涯現役支援窓口」において、特に65歳以上の求職者への就職支援を強化します。 |

※雇用保険受給者が所定給付日数を3分の2以上残して就職(待期期間中や給付制限期間中の就職者、自己就職者等を含む)、雇用保険被保険者資格取得届が提出された件数に雇用保険受給資格決定件数を除した割合

ハローワークのマッチング機能に関する業務の評価・改善の取組 ハローワーク阿倍野 令和6年度目標値及び事業計画

| | 指標 | 目標値 | 事業概要 |
|-------|---|--------|--|
| 主要指標 | ①就職件数 | 7,000件 | オンライン機能の拡充により、ハローワークに来所せずに求職活動を希望する方へのサービスの充実を図ります。また、潜在的にハローワークの支援を必要とする者に対する情報発信を強化し、ハローワークの利用を促すとともに、基本業務の徹底を土台に、予約制・担当者制を積極的に活用し、多様な求職者の一人ひとりのニーズに合わせたきめ細かな支援を行い、求職者支援の更なる強化を図ります。 |
| | ②充足数(受理地ベース) | 6,400件 | 多様な求職者のニーズに合わせた求人の確保及び内容の充実に努めるとともに、担当者制を積極的に活用して、求人の魅力を引き出し、適合する求職者の職業紹介につなげる等、事業所サービス部門と職業相談部門の連携による能動的・積極的マッチングを推進します。 |
| | ③雇用保険受給者の早期再就職割合(※) | 31.9% | 雇用保険受給者の早期再就職を実現するため、失業認定担当部門と職業相談部門が連携し、失業認定日における受給者に対して、個々の状況に応じた職業相談を行うための体制を整備し、就職支援の強化を図ります。 |
| 補助指標 | ①満足度(求人者) | 90.0% | 労働市場の実情に応じ、個々の求職者・求人者のニーズに応えるべく、ハローワークの各種支援サービスを向上させるとともに、積極的な取組を実施し、利用者の満足度を向上させます。 |
| | ②満足度(求職者) | 95.0% | |
| 所重点指標 | ①生活保護受給者等就労自立促進事業の就職率 | 68.1% | 生活保護受給者等の生活困窮者の就労による自立を促進するため、地方自治体等との緊密な連携の下、福祉事務所内においてハローワークの常設窓口での就職支援、巡回相談の実施等による効果的な支援を推進します。 |
| | ②障害者の就職件数 | 1,020件 | 障害者に対するきめ細かな就職支援及び法定雇用率の達成指導に向けた取組を強化します。 |
| | ③ハローワークの職業紹介により、正社員に結びついた就職氷河期世代(35歳～56歳)の不安定就労者・無業者の件数 | 1,066件 | 就職氷河期世代の抱える固有の課題を踏まえ、個々人の状況に応じた支援を行い、活躍の場が広がるよう支援を行うとともに、就職面接会や事業主及び求職者向けセミナー等を実施します。 |
| | ④公的職業訓練修了3か月後の就職件数 | 750件 | 公的職業訓練の積極的な周知を行い受講者確保を図るとともに、きめ細やかな就職支援により、安定した就職の実現に向けた支援を強化します。 |
| | ⑤マザーズハローワーク事業における担当者制による就職支援を受けた重点支援対象者の就職率 | 95.9% | マザーズコーナーにおいて、子育て中の者等を対象に、子ども連れで来所しやすい環境を整備した上で、個々の求職者の状況に応じた就職実現プランを策定し、担当者制によるきめ細かな職業相談などの就職支援の強化を図ります。 |
| | ⑥人材不足分野の就職件数 | 1,936件 | 地方自治体や地域の関係機関と連携しつつ、医療・介護・保育・建設・運輸・警備職種への就業を希望する求職者に対する就職支援サービス及び求人者に対する充足支援サービスを充実・強化します。 |
| | ⑦生涯現役支援窓口での65歳以上の就職率 | 83.40% | 「生涯現役支援窓口」において、特に65歳以上の求職者への就職支援を強化します。 |
| | ⑧一体的実施事業の就職件数 | 1,250件 | 大阪市と連携を強化し、より地域に密着した就労支援を行うとともに、利用者ニーズに応じたサービスを強化します。 |

※雇用保険受給者が所定給付日数を3分の2以上残して就職(待期期間中や給付制限期間中の就職者、自己就職者等を含む)、雇用保険被保険者資格取得届が提出された件数に雇用保険受給資格決定件数を除した割合

ハローワークのマッチング機能に関する業務の評価・改善の取組 ハローワーク淀川 令和6年度目標値及び事業計画

| | 指標 | 目標値 | 事業概要 |
|-------|---|--------|---|
| 主要指標 | ①就職件数 | 4,060件 | 就職に繋がることを意識した求人情報提供、その後のアフターフォローにより個々のニーズに沿った支援を図ります。 |
| | ②充足数(受理地ベース) | 6,250件 | 多様な求職者のニーズに合わせた求人確保及び担当者制を活用した求人内容の充実に努め、適合する求職者の職業紹介につなげる等、事業所サービス部門と職業相談部門の連携による能動的・積極的マッチングを推進します。 |
| | ③雇用保険受給者の早期再就職割合(※) | 31.9% | 職業相談部門と雇用保険給付課が連携した説明会・初回講習の実施により早期再就職の意欲喚起、積極的な情報提供を実施します。 |
| 補助指標 | ①満足度(求人者) | 90.0% | 労働市場の実情に応じ、個々の求職者・求人者のニーズに応えるべく、ハローワークの各種支援サービスを向上させるとともに、積極的な取組を実施し、利用者の満足度を向上させます。 |
| | ②満足度(求職者) | 95.0% | |
| 所重点指標 | ①障害者の就職件数 | 641件 | 障害者雇用指導官・関係支援機関等との連携を強化し、個々の特性に合わせた就職支援を実施します。 |
| | ②新卒者支援に係る就職支援ナビゲーターの支援による新規卒業予定者等(既卒者含む)の正社員就職件数 | 303件 | 就職支援ナビゲーターにより職業講話や模擬面接を実施し、新規学卒予定者等(既卒者含む)の正社員就職を支援します。 |
| | ③ハローワークの職業紹介により、正社員に結びついた就職氷河期世代(35歳～56歳)の不安定就労者・無業者の件数 | 617件 | 就職面接会や他所キャリアアップコーナー実施のセミナーをサテライト会場として開催し、求職者個々の問題解決を図り就職に向けた支援を実施します。 |
| | ④公的職業訓練修了3か月後の就職件数 | 500件 | 訓練受講中においては求人情報の提供、個々のニーズに応じた就職支援を実施し、また、訓練終了時点で未就職の利用者については個別支援の強化を図ります。 |
| | ⑤マザーズハローワーク事業における担当者制による就職支援を受けた重点支援対象者の就職率 | 95.9% | 子育て中の方等を対象に、マザーズコーナーにおいて、お子様連れでも来所しやすい環境の整備をした上で担当者制によるきめ細やかな職業相談を行うこと、またオンラインセミナーの開催などにより就職支援の強化を図ります。 |
| | ⑥人材不足分野の就職件数 | 1,017件 | 地方自治体や地域との関係機関と連携しつつ、医療・介護・保育・建設・運輸・警備職種への就業を希望する求職者に対する就職支援サービスおよび求人者に対する充足支援サービスの充実・強化を図ります。 |

※雇用保険受給者が所定給付日数を3分の2以上残して就職し(待期期間中や給付制限期間中の就職者、自己就職者等を含む)、雇用保険被保険者資格取得届が提出された件数に雇用保険受給資格決定件数を除した割合

ハローワークのマッチング機能に関する業務の評価・改善の取組 ハローワーク布施 令和6年度目標値及び事業計画

| | 指標 | 目標値 | 事業概要 |
|-------|---|--------|---|
| 主要指標 | ①就職件数 | 5,820件 | ハローワークを利用される方の個々の状況に合わせたきめ細かな支援を行うために、基本業務の徹底はもとより、求職者担当者制による予約相談を積極的に活用し就職までの支援をします。また、オンライン機能の拡充により、ハローワークに来所せずに求職活動を希望する方へのサービスの充実を図ります。 |
| | ②充足数(受理地ベース) | 6,300件 | 多様な求職者のニーズに合わせた求人の確保及び内容の充実に努めるとともに、担当者制を積極的に活用して、求人の魅力を引き出し、適合する求職者の職業紹介につなげる等、事業所サービス部門と職業相談部門の連携による能動的・積極的マッチングを推進します。 |
| | ③雇用保険受給者の早期再就職割合(※) | 31.9% | 雇用保険受給者の早期再就職を実現するため、失業認定担当部門と職業相談部門が連携し、失業認定日における受給者に対して、個々の状況に応じた職業相談を行うための体制を整備し、就職支援の強化を図ります。 |
| 補助指標 | ①満足度(求人者) | 90.0% | 労働市場の実情に応じ、個々の求職者・求人者のニーズに応えるべく、ハローワークの各種支援サービスを向上させるとともに、積極的な取組を実施し、利用者の満足度を向上させます。 |
| | ②満足度(求職者) | 95.0% | |
| 所重点指標 | ①生活保護受給者等就労自立促進事業の就職率 | 68.1% | 生活保護受給者等の生活困窮者の就労による自立を促進するため、地方自治体等との緊密な連携の下、担当者制による個別相談及び常設窓口における個別相談の実施等による効果的な支援を実施します。 |
| | ②障害者の就職件数 | 711件 | 障害特性や配慮事項等を的確に把握し、支援機関と連携を図って障害者に対するきめ細かな就職支援を実施します。また法定雇用率未達成事業所への達成に向けた雇用促進の取り組みを強化します。 |
| | ③ハローワークの職業紹介により、正社員に結びついた就職氷河期世代(35歳～56歳)の不安定就労者・無業者の件数 | 958件 | 就職氷河期世代の抱える固有の課題を踏まえ、個々人の状況に応じた支援を行い、活躍の場が広がるよう支援を行うとともに、就職面接会やセミナー等を実施します。 |
| | ④マザーズハローワーク事業における担当者制による就職支援を受けた重点支援対象者の就職率 | 95.9% | マザーズコーナーにおいて、子育て中の者等を対象に、子ども連れで来所しやすい環境を整備した上で、担当者制によるきめ細かな職業相談などの就職支援の強化を図ります。 |
| | ⑤人材不足分野の就職件数 | 1,356件 | 地方自治体や地域の関係機関と連携しつつ、医療・介護・保育・建設・運輸・警備職種への就業を希望する求職者に対する就職支援サービス及び求人者に対する充足支援サービスを充実・強化します。 |
| | ⑥生涯現役支援窓口での65歳以上の就職率 | 83.4% | 65歳以上の高齢者の活躍の場が広がるよう就職面接会やセミナー等を実施し再就職支援を強化します。 |

※雇用保険受給者が所定給付日数を3分の2以上残して就職し(待期期間中や給付制限期間中の就職者、自己就職者等を含む)、雇用保険被保険者資格取得届が提出された件数に雇用保険受給資格決定件数を除した割合

ハローワークのマッチング機能に関する業務の評価・改善の取組 ハローワーク堺 令和6年度目標値及び事業計画

| | 指標 | 目標値 | 事業概要 |
|-------|--|--------|--|
| 主要指標 | ①就職件数 | 6,710件 | 基本業務の徹底を土台に、予約制・担当者制を積極的に活用し、多様な求職者の一人ひとりのニーズに合わせたきめ細かな支援を行い、求職者支援の更なる強化を図ります。また、ハローワークの利用を促進するため、自治体等と連携し、潜在的にハローワークの支援を必要とする者等に対する情報発信に取り組みます。 |
| | ②充足数(受理地ベース) | 6,150件 | 求職者のニーズに合わせた求人確保及び内容の充実に努めるとともに、担当者制を積極的に活用して求人の魅力を引き出し、適合する求職者の職業紹介につなげる等、事業所サービス部門と職業相談部門が連携して充足に向けた支援を行います。 |
| | ③雇用保険受給者の早期再就職割合(※) | 31.9% | 雇用保険給付課(失業認定担当)と職業相談部門が連携し、失業認定日における受給者に対して、個々の状況に応じた職業相談を行うための体制を整備し、就職支援の強化を図ります。 |
| 補助指標 | ①満足度(求人者) | 90.0% | 労働市場の実情に応じ、個々の求職者・求人者のニーズに応えるべく、ハローワークの各種支援サービスを向上させるとともに、積極的な取組を実施し、利用者の満足度を向上させます。 |
| | ②満足度(求職者) | 95.0% | |
| 所重点指標 | ①障害者の就職件数 | 595件 | 障害者に対するきめ細やかな就職支援及び法定雇用率の達成指導に向けた取組を強化します。 |
| | ②わかものハローワーク等を利用して、就職したフリーター等のうち、正社員として就職した者の割合 | 71.0% | フリーター等に対し、担当者制によるきめ細やかな個別支援を行うとともに、若年者を対象としたセミナーや就職面接会等を実施します。 |
| | ③マザーズハローワーク事業における担当者制による就職支援を受けた重点支援対象者の就職率 | 95.9% | マザーズハローワークにおいて、子育て中の者等を対象に担当者制によるきめ細やかな支援を行うとともに、セミナーや両立支援面接会等を実施します。 |
| | ④人材不足分野の就職件数 | 1,944件 | 地方自治体や地域の関係機関と連携しつつ、医療・介護・保育・建設・運輸・警備職種への就業を希望する求職者に対する就職支援サービス及び求人者に対する充足支援サービスを充実・強化します。 |
| | ⑤生涯現役支援窓口での65歳以上の就職率 | 83.4% | 「生涯現役支援窓口」において、65歳以上の高齢者に対するきめ細やかな就職支援、シニア世代を対象としたセミナーや就職面接会等を実施します。 |
| | ⑥雇用保険受給者の紹介就職件数 | 2,030件 | 雇用保険給付課(失業認定担当)と職業相談部門が連携して、失業認定日における受給者に対して、それぞれの状況に応じた職業相談を行うための体制を整備し、就職支援の強化を図ります。 |

※雇用保険受給者が所定給付日数を3分の2以上残して就職し(待期期間中や給付制限期間中の就職者、自己就職者等を含む)、雇用保険被保険者資格取得届が提出された件数に雇用保険受給資格決定件数を除した割合

ハローワークのマッチング機能に関する業務の評価・改善の取組 ハローワーク岸和田 令和6年度目標値及び事業計画

| | 指標 | 目標値 | 事業概要 |
|-------|---|--------|---|
| 主要指標 | ①就職件数 | 2,810件 | <ul style="list-style-type: none"> 求職者担当者制の実施 事業所訪問により求人の詳細な情報を収集し、求職者に提供することによるマッチング向上を図る |
| | ②充足数(受理地ベース) | 2,340件 | <ul style="list-style-type: none"> 求人担当者制 充足会議の活用 |
| | ③雇用保険受給者の早期再就職割合(※) | 31.9% | <ul style="list-style-type: none"> 求職者担当者制の実施 初めて失業認定日をむかえる受給者を職業相談窓口にて全員誘導するなど、連携した支援を実施 |
| 補助指標 | ①満足度(求人者) | 90.0% | <ul style="list-style-type: none"> 労働市場の実情に応じ、個々の求職者・求人者のニーズに応えるべく、ハローワークの各種支援サービスを向上させるとともに、積極的な取組を実施し、利用者の満足度を向上させます。 |
| | ②満足度(求職者) | 95.0% | |
| 所重点指標 | ①新卒者支援に係る就職支援ナビゲーターの支援による新規卒業予定者等(既卒者含む)の正社員就職件数 | 170件 | <ul style="list-style-type: none"> 適性検査や各種セミナー等を実施し、その後に窓口にて個別支援を実施 求人情報提供や面接会等への誘導で積極的な紹介を図る 進路指導担当者へ情報交換会や求人説明会、セミナー等を周知 |
| | ②ハローワークの職業紹介により、正社員に結びついた就職氷河期世代(35歳～56歳)の不安定就労者・無業者の件数 | 330件 | <ul style="list-style-type: none"> 求職者担当者制の実施 ミニ面接会の実施 就職氷河期世代を対象とする求人の確保 |
| | ③人材不足分野の就職件数 | 843件 | <ul style="list-style-type: none"> 人材不足分野を対象にした面接会、施設見学会を含めた会社説明会の開催 |
| | ④生涯現役支援窓口での65歳以上の就職率 | 83.4% | <ul style="list-style-type: none"> シニア就活セミナー開催 ミニ面接会の実施 |

※雇用保険受給者が所定給付日数を3分の2以上残して就職し(待期期間中や給付制限期間中の就職者、自己就職者等を含む)、雇用保険被保険者資格取得届が提出された件数に雇用保険受給資格決定件数を除した割合

ハローワークのマッチング機能に関する業務の評価・改善の取組 ハローワーク池田 令和6年度目標値及び事業計画

| | 指標 | 目標値 | 事業概要 |
|-------|---|---------|---|
| 主要指標 | ①就職件数 | 4,210 件 | オンライン機能の活用等により、能動的・積極的な就職支援に取組み、ハローワークが提供するサービスを充実・強化させます。ハローワークの基本業務の徹底を土台に、予約制・担当者制を積極的に活用し、多様な求職者の一人ひとりのニーズに合わせたきめ細かな支援を行い、求職者支援の更なる強化を図ります。 |
| | ②充足数(受理地ベース) | 3,170 件 | 担当者制を積極的に活用して、多様な求職者のニーズに合わせた魅力ある求人の確保、求人内容の充実に努め、事業所サービス部門と職業相談部門の連携による能動的・積極的マッチングを推進します。 |
| | ③雇用保険受給者の早期再就職割合(※) | 31.9% | 雇用保険受給者の早期再就職を実現するため、失業認定担当部門と職業相談部門が連携し、個々の状況に応じた職業相談を行うための体制を整備し、就職支援の強化を図ります。 |
| 補助指標 | ①満足度(求人者) | 90.0% | 労働市場の実情に応じ、個々の求職者・求人者のニーズに応えるべく、ハローワークの各種支援サービスを向上させるとともに、積極的な取組を実施し、利用者の満足度を向上させます。 |
| | ②満足度(求職者) | 95.0% | |
| 所重点指標 | ①障害者の就職件数 | 412件 | 管内の各就労支援機関との連携によるチーム支援を行う事により職域開拓から職業相談・紹介・職場定着支援に至るまでのきめ細かな支援に努め、年間就職目標の達成を目指します。 |
| | ②ハローワークの職業紹介により、正社員に結びついた就職氷河期世代(35歳～56歳)の不安定就労者・無業者の件数 | 616件 | 就職氷河期世代の抱える固有の課題を踏まえ、個々人の状況に応じた支援を行い、活躍の場が広がるよう支援を行うとともに、求職者向けセミナー等を実施します。 |
| | ③わかものハローワーク等を利用して、就職したフリーター等のうち、正社員として就職した者の割合 | 71.0% | フリーター等に対し、若者支援コーナーを中心に担当者制によるきめ細かな個別支援や予約制による職業相談・職業紹介等、一人ひとりのニーズに応じた就職支援を推進します。 |
| | ④マザーズハローワーク事業における担当者制による就職支援を受けた重点支援対象者の就職率 | 95.9% | マザーズコーナーにおいて、子育て中の方及び子育てが一段落し就職活動を開始した方等を対象に、子ども連れで来所しやすい環境を整備した上で、担当者制による個々の求職者の状況に応じたきめ細かな職業相談を実施し、就職支援の強化を図ります。 |
| | ⑤人材不足分野の就職件数 | 1,160件 | 地方自治体や地域の関係機関と連携しつつ、医療・介護・保育・建設・運輸・警備職種への就業を希望する求職者に対する就職支援サービス及び求人者に対する充足支援サービスを充実・強化します。 |
| | ⑥生涯現役支援窓口での65歳以上の就職率 | 83.4% | 「生涯現役支援窓口」及び2月に開設した「シニアサロン」において、特に65歳以上の求職者への就職支援を強化します。 |

※雇用保険受給者が所定給付日数を3分の2以上残して就職し(待期期間中や給付制限期間中の就職者、自己就職者等を含む)、雇用保険被保険者資格取得届が提出された件数に雇用保険受給資格決定件数を除した割合

ハローワークのマッチング機能に関する業務の評価・改善の取組 ハローワーク泉大津 令和6年度目標値及び事業計画

| | 指標 | 目標値 | 事業概要 |
|-------|---|--------|---|
| 主要指標 | ①就職件数 | 2,720件 | 事業所サービス部門と職業相談部門が連携することにより、求人者ニーズ・求職者ニーズ等の情報を共有し、基本業務の徹底を土台に予約制・担当者制を積極的に活用し、多様な求職者の一人ひとりのニーズに合わせたきめ細かな支援を行い、求職者支援の更なる強化を図ります。 |
| | ②充足数(受理地ベース) | 2,190件 | 多様な求職者のニーズに合わせた求人の確保及び内容の充実に努めるとともに、求人担当者制を積極的に活用して事業所訪問等により事業所からの情報収集に努めることで、求人の魅力を引き出し、適合する求職者の職業紹介につなげる等、事業所サービス部門と職業相談部門の連携による能動的・積極的マッチングを推進します。 |
| | ③雇用保険受給者の早期再就職割合(※) | 31.9% | 雇用保険受給者の早期再就職を実現するため、失業認定担当部門と職業相談部門が連携し、失業認定日における受給者に対して、職業相談マニュアルに基づき個々の状況に応じた職業相談を行うための体制を整備し、就職支援の強化を図ります。 |
| 補助指標 | ①満足度(求人者) | 90.0% | ・労働市場の実情に応じ、個々の求職者・求人者のニーズに応えるべく、ハローワークの各種支援サービスを向上させるとともに、積極的な取組を実施し、利用者の満足度を向上させる。 |
| | ②満足度(求職者) | 95.0% | |
| 所重点指標 | ①障害者の就職件数 | 258件 | 法定雇用率の達成指導に向けた取組を強化するとともに、障害者個々の状況に合わせたきめ細かな就職支援を行い、就職を実現します。 |
| | ②公的職業訓練修了3か月後の就職件数 | 210件 | 「就職氷河期世代等正規雇用を希望しながら非正規雇用で働き続ける者」「女性」「若年者」「障害者」「中高年齢者」や「未経験職種を希望する者」等に対し、個々の適性等に応じた受講科目の案内や、訓練受講中・修了後を通じたきめ細かな就職支援により、安定した就職の実現に向けた支援を強化します。 |
| | ③マザーズハローワーク事業における担当者制による就職支援を受けた重点支援対象者の就職率 | 95.9% | マザーズコーナーにおいて、子育て中の者等を対象に、子ども連れで来所しやすい環境を整備した上で、個々の状況に応じた就職実現プランを策定し、担当者制によるきめ細かな職業相談等の就職支援の強化を図ります。 |
| | ④人材不足分野の就職件数 | 749件 | 地方自治体や地域の関係機関と連携しつつ、面接会等マッチング促進のためのイベントを実施し、医療・介護・保育・建設・運輸・警備職種への就業を希望する求職者に対する求職者支援サービス及び求人者に対する充足支援サービスを充実・強化します。 |

※雇用保険受給者が所定給付日数を3分の2以上残して就職し(待期期間中や給付制限期間中の就職者、自己就職者等を含む)、雇用保険被保険者資格取得届が提出された件数に雇用保険受給資格決定件数を除した割合

ハローワークのマッチング機能に関する業務の評価・改善の取組 ハローワーク藤井寺 令和6年度目標値及び事業計画

| | 指標 | 目標値 | 事業概要 |
|-------|---|--------|---|
| 主要指標 | ①就職件数 | 2,740件 | オンラインを活用した就職支援を強化していきます。求職者マイページの開設、利用促進に取り組み求職者への情報発信等に活用します。また、求職者担当制を積極的に実施し、多様な求職者の一人ひとりのニーズに合わせた支援を行い、求職者支援の更なる強化を図ります。 |
| | ②充足数(受理地ベース) | 1,840件 | 多様な求職者のニーズに合わせた求人の確保に努めるとともに、求人条件の改善や応募条件の緩和、求人票の分かりやすい記載等の提案を積極的に行い、求人内容の充実に努めます。併せて、適合する求職者の早期再就職につなげるため、積極的な求人情報の提供と、事業所説明会の定期的な開催等、積極的なマッチングを推進します。 |
| | ③雇用保険受給者の早期再就職割合(※) | 31.9% | 雇用保険受給者の早期再就職を実現するため、失業認定担当部門と職業相談部門が連携し、失業認定日における受給者に対して、職業相談窓口への誘導強化、的確な求職者ニーズの把握、求人情報の提供等を実施し、就職支援の強化を図ります。 |
| 補助指標 | ①満足度(求人者) | 90.0% | 労働市場の実情に応じ、個々の求職者・求人者のニーズに応えるべく、ハローワークの各種支援サービスを向上させるとともに、積極的な取組を実施し、利用者の満足度を向上させます。 |
| | ②満足度(求職者) | 95.0% | |
| 所重点指標 | ①生活保護受給者等就労自立促進事業の就職率 | 68.1% | 生活保護受給者等の生活困窮者の就労による自立を促進するため、地方自治体等との緊密な連携の下、事業担当者が各地方自治体へ訪問し、意見交換を綿密に行い、巡回相談の実施等による効果的な支援を推進します。 |
| | ②公的職業訓練修了3か月後の就職件数 | 210件 | 訓練コーナー担当者が積極的に訓練校を見学する等により詳細な訓練内容等の情報を収集し、それを活かして求職者個々の状況に応じた適切な訓練への誘導や受講あっせんを行います。また、訓練開始時点から受講中においても積極的な求人情報の提供と、来所日等を活かした職業相談を継続し、安定した就職の実現に向けた支援を強化します。 |
| | ③マザーズハローワーク事業における担当者制による就職支援を受けた重点支援対象者の就職率 | 95.9% | マザーズコーナーにおいて、主に子育て中の方を対象に、子ども連れで来所しやすい環境を整備した上で、個々の求職者の状況に応じた就職実現プランを策定し、担当者制によるきめ細かな職業相談などの就職支援の強化を図ります。 |
| | ④人材不足分野の就職件数 | 652件 | 医療・介護・保育・建設・運輸・警備職種への就業を希望する求職者に対する求人情報の提供を強化するとともに、地方自治体や地域の関係機関と連携した面接会の開催等、各種支援サービスの充実に努めます。 |

※雇用保険受給者が所定給付日数を3分の2以上残して就職し(待期期間中や給付制限期間中の就職者、自己就職者等を含む)、雇用保険被保険者資格取得届が提出された件数に雇用保険受給資格決定件数を除した割合

ハローワークのマッチング機能に関する業務の評価・改善の取組 ハローワーク枚方 令和6年度目標値及び事業計画

| | 指標 | 目標値 | 事業概要 |
|-------|---|--------|--|
| 主要指標 | ①就職件数 | 5,400件 | オンライン機能の拡充により、ハローワークに来所せずに求職活動を希望する方へのサービスの充実を図ります。また、潜在的にハローワークの支援を必要とする者に対する情報発信を強化し、ハローワークの利用を促すとともに、基本業務の徹底を土台に、予約制・担当者制を積極的に活用し、多様な求職者の一人ひとりのニーズに合わせたきめ細かな支援を行い、求職者支援の更なる強化を図ります。 |
| | ②充足数(受理地ベース) | 3,800件 | 多様な求職者のニーズに合わせた求人の確保及び内容の充実に努めるとともに、担当者制を積極的に活用して、求人魅力を引き出し、適合する求職者の職業紹介につなげる等、事業所サービス部門と職業相談部門の連携による能動的・積極的マッチングを推進します。 |
| | ③雇用保険受給者の早期再就職割合(※) | 31.9% | 雇用保険受給者の早期再就職を実現するため、失業認定担当部門と職業相談部門が連携し、失業認定日における受給者に対して、個々の状況に応じた職業相談を行うための体制を整備し、就職支援の強化を図ります。 |
| 補助指標 | ①満足度(求人者) | 90.0% | 労働市場の実情に応じ、個々の求職者・求人者のニーズに応えるべく、ハローワークの各種支援サービスを向上させるとともに、積極的な取組を実施し、利用者の満足度を向上させます。 |
| | ②満足度(求職者) | 95.0% | |
| 所重点指標 | ①障害者の就職件数 | 550件 | 障害者に対するきめ細かな就職支援及び法定雇用率の達成指導に向けた取組を強化します。 |
| | ②ハローワークの職業紹介により、正社員に結びついた就職氷河期世代(35歳～56歳)の不安定就労者・無業者の件数 | 793件 | 就職氷河期世代の抱える固有の課題を踏まえ、個々人の状況に応じた支援を行い、活躍の場が広がるよう支援を行うとともに、就職面接会や事業主向けセミナーや求職者向けセミナー等を実施します。 |
| | ③マザーズハローワーク事業における担当者制による就職支援を受けた重点支援対象者の就職率 | 95.9% | マザーズコーナーにおいて、子育て中の者等を対象に、子ども連れで来所しやすい環境を整備した上で、個々の求職者の状況に応じた就職実現プランを策定し、担当者制によるきめ細かな職業相談などの就職支援の強化を図ります。 |
| | ④人材不足分野の就職件数 | 1,702件 | 地方自治体や地域の関係機関と連携しつつ、医療・介護・保育・建設・運輸・警備職種への就業を希望する求職者に対する就職支援サービス及び求人者に対する充足支援サービスを充実・強化します。 |
| | ⑤生涯現役支援窓口での65歳以上の就職率 | 83.4% | 「生涯現役支援窓口」において、特に65歳以上の求職者への就職支援を強化します。 |
| | ⑥公的職業訓練修了3か月後の就職件数のうちハローワーク紹介による就職件数 | 127件 | 人材不足分野や地域における職業訓練ニーズに沿った訓練コースを設定。求職者個々の状況に応じた適切な訓練への誘導、受講あつせん、訓練修了後の就職支援により、安定した就職の実現に向けた支援を強化します。 |

※雇用保険受給者が所定給付日数を3分の2以上残して就職し(待期期間中や給付制限期間中の就職者、自己就職者等を含む)、雇用保険被保険者資格取得届が提出された件数に雇用保険受給資格決定件数を除した割合

ハローワークのマッチング機能に関する業務の評価・改善の取組 ハローワーク泉佐野 令和6年度目標値及び事業計画

| | 指標 | 目標値 | 事業概要 |
|-------|---|--------|---|
| 主要指標 | ①就職件数 | 2,480件 | オンライン機能の拡充により、ハローワークに来所せずに求職活動を行うことを希望する方へのサービスの充実を図ります。また、潜在的にハローワークの支援を必要とする者に対する情報発信を強化し、ハローワークの利用を促すとともに、基本業務の徹底を土台に、予約制・担当者制を積極的に活用し、多様な求職者の一人ひとりのニーズに合わせたきめ細かな支援を行い、求職者支援の更なる強化を図ります。 |
| | ②充足数(受理地ベース) | 2,090件 | 多様な求職者のニーズに合わせた求人の確保及び内容の充実に努めるとともに、担当者制を積極的に活用して、求人の魅力を引き出し、適合する求職者の職業紹介につなげる等、事業所サービス部門と職業相談部門の連携による能動的・積極的マッチングを推進します。 |
| | ③雇用保険受給者の早期再就職割合(※) | 31.9% | 雇用保険受給者の早期再就職を実現するため、失業認定担当部門と職業相談部門が連携し、失業認定日における受給者に対して、個々の状況に応じた職業相談を行うための体制を整備し、就職支援の強化を図ります。 |
| 補助指標 | ①満足度(求人者) | 90.0% | 労働市場の実情に応じ、個々の求職者・求人者のニーズに応えるべく、ハローワークの各種支援サービスを向上させるとともに、積極的な取組を実施し、利用者の満足度を向上させる。 |
| | ②満足度(求職者) | 95.0% | |
| 所重点指標 | ①障害者の就職件数 | 266件 | 障害者に対するきめ細かな就職支援及び法定雇用率の達成指導に向けた取組を強化します。 |
| | ②マザーズハローワーク事業における担当者制による就職支援を受けた重点支援対象者の就職率 | 95.9% | マザーズコーナーにおいて、子育て中の者などを対象に、子ども連れで来所しやすい環境を整備したうえで、個々の求職者の状況に応じた就職実現プランを策定し、担当者制によるきめ細かな職業相談などの就職支援の強化を図ります。 |
| | ③人材不足分野の就職件数 | 712件 | 地方自治体や地域の関係機関と連携しつつ、医療・介護・保育・建設・運輸・警備職種への就業を希望する求職者に対する就職支援サービス及び求人者に対する充足支援サービスを充実・強化します。 |
| | ④生涯現役支援窓口での65歳以上の就職率 | 83.4% | 「生涯現役支援窓口」において、特に65歳以上の求職者への就職支援を強化します。 |

※雇用保険受給者が所定給付日数を3分の2以上残して就職し(待期期間中や給付制限期間中の就職者、自己就職者等を含む)、雇用保険被保険者資格取得届が提出された件数に雇用保険受給資格決定件数を除した割合

ハローワークのマッチング機能に関する業務の評価・改善の取組 ハローワーク茨木 令和6年度目標値及び事業計画

| | 指標 | 目標値 | 事業概要 |
|-------|--|--------|--|
| 主要指標 | ①就職件数 | 4,360件 | オンライン機能の拡充により、ハローワークに来所せずに求職活動を希望する方へのサービスの充実を図ります。また、潜在的にハローワークの支援を必要とする者に対する情報発信を強化し、ハローワークの利用を促すとともに、基本業務の徹底を土台に、予約制・担当者制を積極的に活用し、多様な求職者の一人ひとりのニーズに合わせたきめ細かな支援を行い、求職者支援の更なる強化を図ります。 |
| | ②充足数(受理地ベース) | 3,900件 | 多様な求職者のニーズに合わせた求人の確保及び内容の充実に努めるとともに、担当者制を積極的に活用して、求人の魅力を引き出し、適合する求職者の職業紹介につなげる等、事業所サービス部門と職業相談部門の連携による能動的・積極的マッチングを推進します。 |
| | ③雇用保険受給者の早期再就職割合(※) | 31.9% | 雇用保険受給者の早期再就職を実現するため、失業認定担当部門と職業相談部門が連携し、失業認定日における受給者に対して、個々の状況に応じた職業相談を行うための体制を整備し、就職支援の強化を図ります。 |
| 補助指標 | ①満足度(求人者) | 90.0% | 労働市場の実情に応じ、個々の求職者・求人者のニーズに応えるべく、ハローワークの各種支援サービスを向上させるとともに、積極的な取組を実施し、利用者の満足度を向上させます。 |
| | ②満足度(求職者) | 95.0% | |
| 所重点指標 | ①障害者の就職件数 | 515件 | 障害者に対するきめ細かな就職支援及び法定雇用率の達成指導に向けた取組を強化します。 |
| | ②新卒者支援に係る就職支援ナビゲーターの支援による新規卒業予定者等(既卒者含む)の正社員就職件数 | 364件 | 就職支援ナビゲーター等による担当者制の個別支援や、未内定者・未就職卒業者に対する「正社員就職をあきらめさせない」継続的な支援、離学者に対する就職支援情報等の提供、就職後の定着支援等を推進します。 |
| | ③わかものハローワーク等を利用して、就職したフリーター等のうち、正社員として就職した者の割合 | 71.0% | フリーター等に対し、担当者制によるきめ細かな個別支援や予約制による職業相談・職業紹介等、一人ひとりのニーズに応じた就職支援を推進します。 |
| | ④マザーズハローワーク事業における担当者制による就職支援を受けた重点支援対象者の就職率 | 95.9% | マザーズコーナーにおいて、子育て中の者等を対象に、子ども連れで来所しやすい環境を整備した上で、個々の求職者の状況に応じた就職実現プランを策定し、担当者制によるきめ細かな職業相談などの就職支援の強化を図ります。 |
| | ⑤人材不足分野の就職件数 | 1,152件 | 地方自治体や地域の関係機関と連携しつつ、医療・介護・保育・建設・運輸・警備職種への就業を希望する求職者に対する就職支援サービス及び求人者に対する充足支援サービスを充実・強化します。 |
| | ⑥生涯現役支援窓口での65歳以上の就職率 | 83.4% | 「生涯現役支援窓口」において、特に65歳以上の求職者への就職支援を強化します。 |

※雇用保険受給者が所定給付日数を3分の2以上残して就職し(待期期間中や給付制限期間中の就職者、自己就職者等を含む)、雇用保険被保険者資格取得届が提出された件数に雇用保険受給資格決定件数を除した割合

ハローワークのマッチング機能に関する業務の評価・改善の取組 ハローワーク河内長野 令和6年度目標値及び事業計画

| | 指標 | 目標値 | 事業概要 |
|-------|---|--------|--|
| 主要指標 | ①就職件数 | 2,250件 | オンライン機能の拡充により、ハローワークに来所せずに求職活動を希望する方へのサービスの充実を図ります。また、潜在的にハローワークの支援を必要とする者に対する情報発信を強化し、ハローワークの利用を促すとともに、基本業務の徹底を土台に、予約制・担当者制を積極的に活用し、多様な求職者の一人ひとりのニーズに合わせたきめ細かな支援を行い、求職者支援の更なる強化を図ります。 |
| | ②充足数(受理地ベース) | 1,770件 | 多様な求職者のニーズに合わせた求人の確保及び内容の充実に努めるとともに、担当者制を積極的に活用して、求人の魅力を引き出し、適合する求職者の職業紹介につなげる等、事業所サービス部門と職業相談部門の連携による能動的・積極的マッチングを推進します。 |
| | ③雇用保険受給者の早期再就職割合(※) | 31.9% | 雇用保険受給者の早期再就職を実現するため、失業認定担当部門と職業相談部門が連携し、失業認定日における受給者に対して、個々の状況に応じた職業相談を行うための体制を整備し、就職支援の強化を図ります。 |
| 補助指標 | ①満足度(求人者) | 90.0% | 労働市場の実情に応じ、個々の求職者・求人者のニーズに応えるべく、ハローワークの各種支援サービスを向上させるとともに、積極的な取組を実施し、利用者の満足度を向上させます。 |
| | ②満足度(求職者) | 95.0% | |
| 所重点指標 | ①ハローワークの職業紹介により、正社員に結びついた就職氷河期世代(35歳～56歳)の不安定就労者・無業者の件数 | 289件 | 就職氷河期世代の抱える固有の課題を踏まえ、個々人の状況に応じた支援を行い、活躍の場が広がるよう支援を行うとともに、就職面接会や事業主向けセミナーや求職者向けセミナー等を実施します。 |
| | ②マザーズハローワーク事業における担当者制による就職支援を受けた重点支援対象者の就職率 | 95.9% | マザーズコーナーにおいて、子育て中の者等を対象に、子ども連れで来所しやすい環境を整備した上で、個々の求職者の状況に応じた就職実現プランを策定し、担当者制によるきめ細かな職業相談などの就職支援の強化を図ります。 |
| | ③人材不足分野の就職件数 | 636件 | 地方自治体や地域の関係機関と連携しつつ、医療・介護・保育・建設・運輸・警備職種への就業を希望する求職者に対する就職支援サービス及び求人者に対する充足支援サービスを充実・強化します。 |
| | ④生涯現役支援窓口での65歳以上の就職率 | 83.4% | 「生涯現役支援窓口」において、特に65歳以上の求職者への就職支援を強化します。 |

※雇用保険受給者が所定給付日数を3分の2以上残して就職し(待期期間中や給付制限期間中の就職者、自己就職者等を含む)、雇用保険被保険者資格取得届が提出された件数に雇用保険受給資格決定件数を除した割合

ハローワークのマッチング機能に関する業務の評価・改善の取組 ハローワーク門真 令和6年度目標値及び事業計画

| | 指標 | 目標値 | 事業概要 |
|-------|---|--------|--|
| 主要指標 | ①就職件数 | 3,700件 | オンライン機能の拡充により、ハローワークに来所せずに求職活動を希望する方へのサービスの充実を図ります。また、潜在的にハローワークの支援を必要とする者に対する情報発信を強化し、ハローワークの利用を促すとともに、基本業務の徹底を土台に、予約制・担当者制を積極的に活用し、多様な求職者の一人ひとりのニーズに合わせたきめ細かな支援を行い、求職者支援の更なる強化を図ります。 |
| | ②充足数(受理地ベース) | 3,030件 | 多様な求職者のニーズに合わせた求人の確保及び内容の充実に努めるとともに、担当者制を積極的に活用して、求人の魅力を引き出し、適合する求職者の職業紹介につなげる等、事業所サービス部門と職業相談部門の連携による能動的・積極的マッチングを推進します。 |
| | ③雇用保険受給者の早期再就職割合(※) | 31.9% | 雇用保険受給者の早期再就職を実現するため、失業認定担当部門と職業相談部門が連携し、失業認定日における受給者に対して、個々の状況に応じた職業相談を行うための体制を整備し、就職支援の強化を図ります。 |
| 補助指標 | ①満足度(求人者) | 90.0% | 労働市場の実情に応じ、個々の求職者・求人者のニーズに応えるべく、ハローワークの各種支援サービスを向上させるとともに、積極的な取組を実施し、利用者の満足度を向上させます。 |
| | ②満足度(求職者) | 95.0% | |
| 所重点指標 | ①障害者の就職件数 | 486件 | 障害者に対するきめ細かな就職支援及び法定雇用率の達成指導に向けた取組を強化します。 |
| | ②ハローワークの職業紹介により、正社員に結びついた就職氷河期世代(35歳～56歳)の不安定就労者・無業者の件数 | 556件 | 就職氷河期世代の抱える固有の課題を踏まえ、個々人の状況に応じた支援を行い、活躍の場が広がるよう支援を行うとともに、就職面接会や事業主向けセミナーや求職者向けセミナー等を実施します。 |
| | ③わかものハローワーク等を利用して、就職したフリーター等のうち、正社員として就職した者の割合 | 71.0% | フリーター等に対し、担当者制によるきめ細かな個別支援や予約制による職業相談・職業紹介等、一人ひとりのニーズに応じた就職支援を推進します。 |
| | ④マザーズハローワーク事業における担当者制による就職支援を受けた重点支援対象者の就職率 | 95.9% | マザーズコーナーにおいて、子育て中の者等を対象に、子ども連れで来所しやすい環境を整備した上で、個々の求職者の状況に応じた就職実現プランを策定し、担当者制によるきめ細かな職業相談などの就職支援の強化を図ります。 |
| | ④人材不足分野の就職件数 | 940件 | 地方自治体や地域の関係機関と連携しつつ、医療・介護・保育・建設・運輸・警備職種への就業を希望する求職者に対する就職支援サービス及び求人者に対する充足支援サービスを充実・強化します。 |
| | ⑤生涯現役支援窓口での65歳以上の就職率 | 84.3% | 「生涯現役支援窓口」において、特に65歳以上の求職者への就職支援を強化します。 |

※雇用保険受給者が所定給付日数を3分の2以上残して就職し(待期期間中や給付制限期間中の就職者、自己就職者等を含む)、雇用保険被保険者資格取得届が提出された件数に雇用保険受給資格決定件数を除した割合